

インフルエンザ(2026 年第 38 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 38 週の定点当たり報告数は 8.48(患者報告数 31,428)となり、前週の定点当たり報告数 5.54 よりも増加した。都道府県別では沖縄県(26.27)、東京都(15.21)、愛知県(15.12)、神奈川県(14.71)、千葉県(14.36)、埼玉県(13.56)、茨城県(13.47)、富山県(10.77)、新潟県(10.16)、静岡県(8.94)、宮城県(7.87)、長崎県(7.72)、山形県(7.15)の順となった。全国 47 都道府県中、44 都道府県では前週の報告数よりも増加し、3 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 752 例であり、前週(479 例)から増加した。45 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(19 例)、1～4 歳(95 例)、5～9 歳(90 例)、10 代(40 例)、20 代(12 例)、30 代(7 例)、40 代(17 例)、50 代(41 例)、60 代(74 例)、70 代(135 例)、80 歳以上(222 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2026 年第 34 週～2026 年第 38 週)では、AH1pdm09 が 105 件(98%)、AH3 亜型が 2 件(2%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://idw-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。